

バレンシア



www.spain.info



産業観光省
出版元: © Turespaña
作成: Lionbridge
NIPO: 086-17-059-4

無料頒布
このパンフレットの内容は細心の注意を払って作成されています。もし誤りがございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせくださいようお願いいたします

表紙: 芸術科学都市、写真: Tatiana Popova/123rf.com
裏表紙: ラ・アルプフェラ
写真: Pabkov/123rf.com

目次

はじめに	3
バレンシアの地区	4
旧市街: 活気ある歴史地区	
ルサファ: 若者が集まる国際地区	
ウォーター・フロント地区	
文化	6
美術館・博物館	
芸術科学都市	
バレンシアを味わう	7
バレンシアの四季	8
夏	
秋	
冬	
春	
ビーチと自然	10
家族で楽しむバレンシア	10
隠れ家的名所	11
公園と庭園	
美術館・博物館	
モニュメント	
バレンシアの眺望	
バレンシアの夜	12
バレンシアの観光ルート	12
バレンシア周辺のおすすめスポット	13
バレンシアの田園	
プッチ修道院	
サグント	
バレンシアのワインルート	
マニセス	
バレンシアへのアクセス	14
列車	
空港	
自動車	
バレンシアでの移動	
バレンシアの観光案内所	

はじめに

バレンシアを一度訪れば、きっとこの街の虜になってしまうでしょう。地中海に面したバレンシア州の州都は、美しいビーチと過ごしやすい気候でよく知られています。

ここは、歴史、伝統、そして未来がコントラストを織りなす街です。歴史地区ではいにしへの足跡を巡り、市街地では前衛的な建物に驚かされるはずです。バレンシアは無限の可能性を秘めています。

▶ ロンハ・デ・ラ・セダ



この街には、文化と科学を普及するためにつくられたヨーロッパ最大規模の複合施設である、芸術科学都市があります。IMAXシアターのあるレミスフェリックや、ヨーロッパ最大級の水族館であるオセアノグラフィックなど、5つの現代建築に感銘を受けることでしょう。対照的に、シウダ・ベジャの名で親しまれる旧市街では、世界遺産に登録される旧絹交易所のロンハ・デ・ラ・セダなどの文化遺産に出会えます。

自然の宝庫としても名高いバレンシア。穏やかな地中海性の気候により、一年を通して海を楽しむことができます。市街地のビーチは、日光浴をしたり、ひと泳ぎしたり、賑やかなテラスで一杯楽しむのにぴったりです。街から離れた静かなビーチでは、のんびり寛ぐのがおすすめ

です。かつてトゥリア川が流れていた川床につくられた、自然あふれる遊歩道を歩いたり、美しい干潟や水田を眺めることができるアルブフェラ自然公園を訪ね、澄んだ空気のなか深呼吸をして日常の喧騒から離れてみませんか。

バレンシアの食文化も魅力的です。エル・カバニャル海浜やラ・マルバロサ港周辺には、世界的に有名なバレンシアの郷土料理であるパエリアを振る舞うレストランが立ち並びます。創作料理を楽しめるレストランで、前衛料理を試してみるのもよいかもしれません。

情熱と光にあふれる街、バレンシアに一步足を踏み入れれば、おおらかな人々と居心地の良さに魅了されることでしょう。



バレンシアの地区

▲ エル・カルメン地区

バレンシアが誇る文化遺産、自然、食文化は計り知れません。それらの魅力を地区ごとに見つけていきましょう。

旧市街: 活気ある歴史地区

賑やかな雰囲気を感じながら、歴史に身をゆだねてみましょう。カルメン地区の細い路地を歩き、テラスでひと休みしながらグラスを傾けてみませんか。この地区は街一番の繁華街であり、カルチャーの発信地でもあります。悠久の歴史を感じさせる城壁を取り囲むのは、セラーノスの塔や植物園といった魔法がかかったようなスポットです。

バレンシアで最も古い地区であるラ・セウは、ショッピングに最適です。ラ・パス通りやポエタ・ケロル通り、市庁舎広場にはたくさんの店が集まっています。

手工芸品を探すなら、エル・メルカット地区のレドンダ広場で開かれるマーケットを覗いてみましょう。掘り出しものが見つかるかもしれません。



▲ 市庁舎広場

旧市街の地区名でもある中央市場も是非覗いてみてください。広大な市場にはバレンシアの畑で採れた新鮮な食材が並びます。この地区のレストランでは、古く美しい街並みのなかで食事を楽しめだけでなく、地元食材をふんだんに取り入れた料理を堪能することができます。食事前には、有名な鐘塔のミゲレテがある大聖堂や旧絹交易所のロンハ・デ・ラ・セダなどの文化財を見学するのもよいでしょう。。

旧市街地内で最大のサンフランシスコ地区では、この街きっての文化遺産である プリンシパル劇場へ足を運んでみませんか。

ルサファ: 若者が集まる国際地区

コントラストに満ちた国際色豊かなこの地区は、近年、人気が高まっている地区です。夕食に出かけるもよし、クラブに出かけるもよし、展覧会に足を運ぶもよし。「バレンシアのソーホー」の楽しみ方は無限大です。

その中心地となるのが、ルサファ市場です。さまざまな店を覗きながら、この土地の豊かな味覚を堪能してみませんか？ レストランやバル、タベルナ、テラスなど飲食店の種類も豊富です。

サン・バレロ・イ・サン・ビセンテ・マルティル教会を訪れば、この建物が「ルサファの大聖堂」と呼ばれる由縁がわかるでしょう。

ウォーター・フロント地区

この地区には、バレンシアの海のエッセンスがすべて凝縮されています。市街地のビーチが集中しており、パエリアや新鮮な魚介料理をおいしく楽しめるレストランが軒を連ねます。

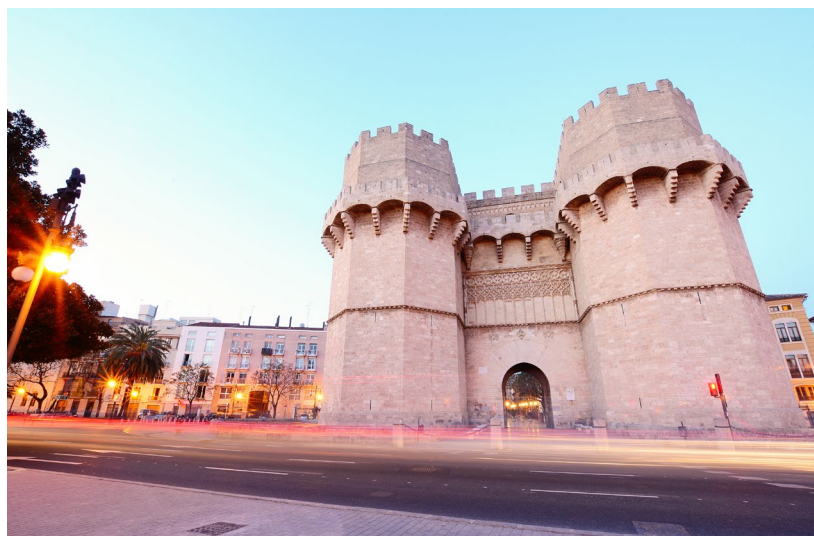
バレンシアの宝ともいえる、エル・カバニャル地区では、タイル装飾やカラフルな外壁に彩られた町並みを散策したり、新鮮な食材が集まる市場を訪ねてみましょう。



▲ 中央市場



▲ 植物園



▲ セラーノスの塔

文化

バレンシアには、様々な分野の美術館・博物館や、世界的にも高く評価されている近代建築の一つである芸術科学都市があります。

美術館・博物館

バレンシア美術館

ベラスケスやボッシュ、ゴヤなどの作品を展示しています。その他にも中世の画家から、リベラやソローリャといったバレンシア派の画家のコレクションまで見逃せない作品を多数所蔵しています。

歴史博物館

考古資料や写真、映像展示を鑑賞しながら、バレンシアの歴史を遡ってみませんか。バレンシアに初めて設置された貯水場を利用した博物館の建物そのものも見どころです。

火祭り博物館

ファジャスはバレンシアで最も重要なお祭りであり、スペイン三大祭りのひとつです。この博物館では、お祭りのメインイベントであるニノット・インドゥルタット（張り子人形）のう

ち、祭りで焼かれなかった人形を1934年のものから展示しています。

バレンシア現代芸術院（IVAM）

フリオ・ゴンサレスとイグナシオ・ピナッソの常設展や、絵画、写真、近代美術の企画展を鑑賞することができます。

ゴンサレス・マルティ国立陶器・装飾芸術博物館

陶器の町として有名な近隣のマニセスやパテルナ、アルコラの幅広い陶器コレクションをはじめ、中国や日本の陶磁器、ピカソなど芸術家のサイン入りの作品が展示されています。

ボンバス・ヘンス デジタルアートセンター

1930年代の旧ポンプ工場の建物を利用したこのセンターは、没入型の映像作品を専門としたカルチャースペースです。

オルテンシア・エレロアートセンター

市中心部のバレリオラ宮殿には、オルテンシア・エレロ財団の名高い近代美術の私有コレクションが展示されています。

水槽越しにサメと一緒に一晩過ごしたり、地球を宇宙から見てみたり、DNA構造に迷い込んだり、**芸術科学都市**では、他にもさまざまな体験があなたを待っています。

芸術科学都市

バレンシア出身の建築家サンティアゴ・カラトラバ設計による、ヨーロッパ最大級の芸術と科学の普及を目的とした複合施設です。驚きに満ちた前衛建築群を訪ねてみましょう。

現代芸術家たちが手がけた彫像が美しい自然豊かな散策路であるルンブラクレを抜けると、見事なガラス窓に覆われた科学博物館が姿を現します。この博物館では、「手を触れないこと禁止」のキャッチコピーの通り、多種多様なインタラクティブ作品が展示されています。

ヨーロッパ最大級の水族館であるロセアノグラフィックでは、海の音に耳を澄まし、サメやペンギンを間近で観察してみ

ましょう。目の形をした堂々たるレミスフェリックでは、IMAXシアターや宇宙の神秘に迫るプラネタリウムを満喫することができます。

そして、アストット・デ・ルオール橋とバレンシアのカイシャ・フォーラム美術館が置かれたアゴラススペースの隣には、オペラハウスを包括する巨大建物のレス・アートがあります。

バレンシアを味わう

地中海のそよ風を肌に感じながら、美味しいワインをお供にパエリアに舌鼓を打ちましょう。エル・カバニャル・ビーチやラ・マルバロサ・ビーチのすぐ近くには、海を眺めながら食事ができるレストランが立ち並びます。

アルブフェラ地域では、じゃがいもやパプリカ、ニンニクとウナギを煮込んだ「アル・イ・ペブレ」(ニンニクとパプリカ)や、さまざまな魚をあっさりとした出汁で煮た浜料理「スケット・デ・ペイックス」(魚の土鍋煮込み)がおすすめです。

チュファと呼ばれる植物の茎から作られる爽やかな味わいのジュースオルチャータを、砂糖をまぶした菓子パンのファルトンと一緒に合わせれば、さらにバレンシア気分を味わうことができます。

料理界の新しい波に触れることもできます。創作地中海料理のレストランを訪ねてみましょう。ミシュランの星を獲得しているレストランもあります。

また、市場で振る舞われる料理にも注目が集まっています。美しいモデルニスモ建築の中央市場には、バレンシアの肥沃な畑や豊かな海でとれた新鮮な食材が並びます。老舗やデリカテッセンを巡りながら、天井のドームやステンドグラスから差し込む光を感じましょう。歴史を感じるコロン市場では、さまざまな食の演出があなたを驚かせることでしょう。手の込んだタパスを試してみたり、ワインの試飲や料理教室などのグルメ・アクティビティに参加してみませんか。



バレンシアの四季

季節を問わず、バレンシアではさまざまなアクティビティを楽しむことができます。そのいくつかをご紹介します。

夏

音楽好きなら、夏にバレンシアで開催される音楽フェスティバルがおすすめです。ベニカシム国際フェスティバル (FIB) は、スペインで最大規模の音楽フェスティバルです。芸術科学都市では、6月初旬にインディーズ音楽祭のレス・アーツフェスティバル、そして同月下旬にはアーバンミュージックの祭典ビッグサウンドが開催されます。7月と8月にかけてはビベロスコンサートとニッツ・デ・ビベロスが企画され、数々の野外ライブコンサートがビベロス庭園を舞台に催されます。また、7月いっぱいにはバレンシアのグラン・フィラも開催され、音楽、花火大会などの充実したスケジュールは有名なバタジャ・デ・フローレス（花の戦）で幕を下ろします。



秋

10月9日はバレンシア州の日です。地元の人と肩を並べて、街を練り歩くパレードやダンスに参加してみましょう。

また、10月には、バレンシア・クイーナ・オベルタ・レストラン・ウィークフェスティバルが開催され、有名レストランの料理を手軽な価格で味わうことができます。



冬

3月、バレンシアは盛大なお祭りに沸き立ちます。その名もファジャス（火祭り）。ユネスコ無形文化遺産に登録されるこのお祭りでは、社会風刺の要素を盛り込んだ約400体の巨大な張り子人形を一目見ようと、街中に多くの人が集まり盛り上がります。



ラ・クレマと呼ばれる行事で、お祭りの高揚感は最高潮に達します。街角に展示されていた張り子人形が、3月19日の深夜に焼かれるのです。その他にも、マスケタと呼ばれる爆竹ショーの火薬のにおいに、音楽隊の奏でるメロディー、伝統衣装に身を包んだ人々が行き交うパレードなど、街全体が、祭りを目一杯楽しむエネルギーにあふれます。

春

5月には、レイナ広場にあるル・エスクラエタ市場で陶器市が開かれます。

バレンシアの民族文化に触れてみませんか。5月の第2日曜日の前日に開催される、バレンシアの守護聖人である聖母デサンパレードスを祝うお祭りでは、ダンスと呼ばれる伝統舞踊を間近で楽しみましょう。



▲ 火祭り（ファジャス）

ビーチと自然

バレンシアのビーチで海水浴はいかがですか？市街地からほんの15分ほどのにはマルバロサ・ビーチ、エル・カバニャル・ビーチ、そしてパタコナ海浜があります。より自然豊かなビーチへ行くなれば、市街地から10kmほどの砂丘と深く茂る緑に囲まれたビーチがおすすめです。なかでも、ル・アルブレ・デル・ゴス・ビーチやエル・サレール・ビーチ、デベサなどが特に有名です。

アルブフェラ自然公園では、湿地帯で泳ぐことができるだけでなく、多様な動植物に出会えます。チュリジャのつり橋ルートでは、トゥリア川の溪谷の美しい自然のなかでハイキングを楽しむことができます。また、ハランセにあるドン・ファン洞窟に足を延ばしてみるのもよいでしょう。鍾乳石や石筍が織りなす見ごたえのある地下空間では、「祈願の湖」や「悪魔の洞窟」など神秘的な名前が付いたスポットを巡ることができます。

エル・サレール・ビーチ

芸術科学都市
写真: MarkBiza/123rf.com

家族で楽しむ バレンシア

バレンシアは子どもたちと一緒に楽しむことができる街です。アルブフェラ自然公園でボートに乗ったり、鉛製の兵隊を展示するソルダディートス・デ・プロモ博物館を訪れたり、ガリバーをテーマにした公園でシーソーや滑り台などの遊具で遊んだり。家族でバレンシアを満喫しましょう。

芸術科学都市は、子どもたちも遊びながら学ぶことができる空間です。ヨーロッパ最大級の水族館であるオセアノグラフィックで海洋生物を観察したり、科学博物館で教育プログラムに参加してみるのもよいでしょう。

ベニドルムにあるテラ・ミティカは、家族で訪れるのにぴったりの遊園地です。バレンシアから車で1時間半のところにあり、子どもから大人まで楽しめます。

街の隠れた名所

観光名所を満喫した後は、あまり知られていない隠れた名所にも足を運んでみましょう。

公園と庭園

自然豊かなトゥリア庭園で散歩をして、心地良い園内の一画でひと休みしませんか。スペインで最大規模を誇る市街地の公園は、遊び場やスポーツ施設も完備しています。

歴史がつまった緑豊かなレアル庭園は、イスラム時代に起源を持つ彫像と噴水が美しい憩いの場です。



秘密の美術館・博物館

バレンシアの街中にある隠れた美術館・博物館を見つけにいきましょう。セダ美術学校の美術館もその一つです。ここではシルクロードにおけるバレンシアの重要性を知ることができます。8世紀より重要な絹の生産拠点であったこの街の歴史の一端を学びましょう。

バレンシア民族博物館では、バレンシアの地域社会が時代とともにどのような変遷を辿ってきたのかについて迫ることができます。

バレンシア大聖堂博物館では、ゴヤや

ジャノス、アルメディーナなどの絵画を鑑賞しましょう。

文学がお好きなら、マルバロサ・ビーチにあるバレンシア出身の作家ブラスコ・イバニェスの住居を開放した、**ブラスコ・イバニェス邸博物館**がおすすめです。アルモイナ考古学博物館では、巨大な地下空間に潜って、古代ローマや西ゴート族、イスラム時代まで、歴史を遡ることができます。

モニュメント

バレンシアでは、歩みを進めるごとに美しいモニュメントに出会えます。中央市場のそばには、かつてモスクであったサントス・ファネス教会が建っています。ドームや内壁を彩るアントニオ・パロミーノが手がけたバロック様式のフレスコ画を鑑賞しましょう。同じくパロミーノが制作した素晴らしいフレスコ画がサン・ニコラス・デ・バリ・イ・サン・ペドロ・マルティル教会にあります。専門家から「バレンシアのシスティーナ礼拝堂」としても知られている教会です。

セルベジョ宮殿は、19世紀の著名人たちが住まいとして利用していたことで有名です。新古典様式のファザードには、2つの塔とバルコニーがあり、気品あふれる佇まいを残しています。

ティングラードス・デル・プエルト（港の倉庫群）周辺を散策してみましょう。港町を象徴するこの建築物は、この街の宝です。

バレンシアの眺望

バレンシアを360度眺めるなら、市内から40kmほどに位置するカルデロナ山脈のピコ・ガルビ展望台を目指しましょう。

バレンシアの夜

夜の街へ繰り出しましょう。バレンシアの夜には、様々な楽しみがあります。

カルメン地区では、バレンシアで最も歴史のある通りがあなたを待っています。好みのテラス、レストランがきっと見つかるはずです。

普段とは違う夜を過ごすなら、**ルサファ**地区がおすすめです。仕事帰りにぴったりの洗練されたバルでグラスを傾けた

り、オリジナリティあふれるクラブで80年代の音楽のリズムに乗って踊りましょう。

マリーナ・レアルと呼ばれる海岸には、お洒落な雰囲気漂っています。海を眺めながらくつろぐのにぴったりのラグジュアリーなバルやレストラン、ディスコで特別な夜を楽しめます。

バレンシアの観光ルート

火祭りの時期にバレンシアを訪れると、見ごたえのある張り子人形を見ながら一日中過ごすことができます。街の中心に立ち寄る際は、市庁舎の張り子人形をお見逃しなく。コンテストには出展されませんが、毎年突出した出来栄を披露しています。市庁舎の周りでは、次から次へと数多くの人形に出会えるでしょう。

シルクロードに興味はありますか？ピラール地区の名で親しまれるベジュテルス地区を訪れて、ロンハ・デ・ラ・セダ(旧絹交易所)やセダ美術学校に足を踏み入れてみましょう。そのすぐ側には、ピラール教会やバレンシア旧総合病院など、数世紀に及ぶ歴史を持つ建物が佇んでいます。

市内200km以上に敷かれた自転車専用道路や市の中心部を横切るトゥリア川跡につくられた公園を通り、快適なサイクリングに出かけるのもよいでしょう。おすすめのルートは、芸術科学都市から、潮風が吹く稲作地帯やアルブフェラ湖へ向かうルートや、地中海沿岸の古代ローマの道であるアウグスタ街道から、美しい夕焼けを望むことができるマルハル・デルス・モロスまでのルートです。

バレンシア周辺 おすすめスポット

バレンシア市外の周辺地域で楽しめるおすすめの行先をご紹介します

バレンシアの田園



徒歩または馬に乗って、田園風景を散策しましょう。新鮮な野菜を収穫したり、パエリアの作り方を学ぶこともできます。

ブッチ修道院

防衛の塔を4つ持つルネッサンス様式の宗教建築には、印刷とグラフィック・アート博物館が併設されています。

サグント

2千年を超える歴史を持つサグントの町には、たくさんのお見どころがあります。なかでも、古代ローマ遺跡とサグント城がおすすめです。

バレンシアのワインルート

ウティエル・レケナ地方はワインの名産地として知られ、岩がちな風景の中にブドウ畑が広がっています。ワイナリーを訪ねてバレンシア産ワインの試飲をしてみましょう。

マニセス



あたたかい雰囲気にもまれたマニセスは、陶器の町として有名です。美しいタイル装飾に彩られた16～17世紀の建物内にある陶器博物館を見学したりエルス・アルクス水道橋を眺めてみましょう。

バレンシアへのアクセス

列車

高速列車（AVE）がマドリードやクエンカ、アルバセナ、カステジョン・デ・ラ・プラナ、アリカンテ、ムルシアとバレンシアを結んでいます。その他のスペインの主要都市からは、長距離列車でのアクセスが可能です。

空港

バレンシア空港（別名マニセス空港）は、バレンシアと国内外の主要都市を結んでいます。

自動車

バレンシアには近代的な道路設備が整っているため、自動車でのアクセスも容易です。地中海の高速自動車道AP-7号はレバンテ沿岸の北から南までを網羅し、ヨーロッパ自動車道のみならず、セグントからソンプルトを結ぶ高速道A-23号や、マドリードからバレンシアを結ぶ高速道A-3号と繋がっています。

バレンシア語: 併用公用語

バレンシアでは二つの言語が共存しています。バレンシア州独自の言語であるバレンシア語とスペインの公用語であるスペイン語です。標識やポスターの多くは両方の言語で表記されています。

バレンシアでの移動

市営バスやトラム、地下鉄の交通網はバレンシア市内の隅々まで広がっています。また、バレンシアは自転車でも動きやすい街です。周辺地域を訪れるなら、近郊列車が便利です。



詳細：

バルンシアの観光案内所
市役所広場、146002 Valencia
www.comunitatvalenciana.com

スペイン政府観光局公式サイト
www.spain.info



X @spain

Instagram @spain

Facebook Spain.info

YouTube /spain

TikTok @visitSpain